

あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

**第13回同人総会は28名が出席して活発に討議、
2008年総括と2009年活動方針、決算&予算を承認する。
‘今年も安全登山を第一に楽しく充実した一年にしよう！’**

2008年12月13日(土)、群馬県高山村プラネットわらび荘で28名が出席(他に委任状提出者4名)して、第13回同人総会が開催されました。議長(川辺、浅古)と書記(栗原昌)を選出した後、総会議事を討議しました(詳細は議事録参照)。執行部、各委員会では出された意見などをふまえ、今年の活動を具体化していきます。よろしく願いいたします。

翌日の小野子山ハイクはよもやの雪模様。昼頃には回復するとみて、ゆっくりと9時30分に宿を出発。参加者19名が車4台に分乗して小野子山赤芝登山口へ。新雪が4、5cmほど積もった登山道を踏みしめ、1時間半ほどで小野子山頂着。樹木にびっしりついた霧氷が幻想的な美しい山景色を演出してくれました。山頂で熱いコーヒー飲んで体を温め、全員で記念写真を撮ってから下山しました。総会記念ハイクでは久しぶりの雪ハイクとなりましたが、みんな雪を見ながら楽しそうでした。

大嶋会長、石川副会長、宮田事務局長の三役と並木、高橋会計監事は留任

会長：大嶋博 副会長：石川邦彦 事務局長：宮田幸男 会計監事：並木利夫、高橋武子
事務局(担当別)…会計(青木)／同人通信(宮田、白根、逸見、栗原、浅古)／遭対基金(須藤裕)
登山時報(木村)／装備(大嶋、駒崎)／データ管理(豊島)／HP(石川)
会場予約(堀、高橋)／新入会員(豊島、須藤裕、木下)
県連関係：理事(木村)／評議員(滝沢)／遭難対策委員(南雲)／山スキーネット(須藤裕、宮田)
女性委員会(未定)／救助隊登録員(浅見、木下、木村)

1月例会で各種委員会の希望を取ります

山行企画委 / 学習企画委 / 海外登山委 / 山旅編集委 / 写真展開催委 / 環境考委

▲ ▲ ▲ ▲ 遭対基金の更新、新年度会費の納入を ▼ ▼ ▼ ▼

同人の遭対基金の期限月は2月末日となっていますので、1月例会で必ず手続きを行ってください(担当：須藤裕)。また、新年度の会費納入も併せてお願いします。

『私たちの山旅』(第17集)発刊する！

編集委員を始め、作成に協力していただいた方、大変ご苦労さまでした。総会時に2冊を配布しましたが、それ以上を希望する方には1冊300円でお渡しします。

※経費報告…総費用110,026円<完成総部数200部>

(内訳)製本66,000円/用紙8,736円/保育園謝礼20,000円/カラー印刷9,392円

2009年新春の会山行

- 1 新年初滑り・乳頭温泉湯治と秋田駒ヶ岳&乳頭山スキー**〈初～上級〉 [計画者:宮田]
日 程 : 1/10(土)～12(月)or13(火) 休暇村乳頭温泉郷泊
参加者 : 山スキーパーティ CL宮田 SL木下 川辺、大嶋、青島、浅見、豊島、木村
 ゲレンデスキー&リカンパーティ 堀、並木、栗原幸、白根
- 2 新春恒例 鍋ハイク・破風山** [計画者:新井]
日 程 : 1/25(日) 詳細は例会でお知らせします
参加者 : CL新井 高野、山崎、八木、藤井、堀、並木、栗原、逸見、大嶋、軽石、渡辺
- 3 山スキー・妙高神奈山、雪崩&レスキュー訓練** [計画者:宮田]
日 程 : 2/1(日) 関温泉スキー場～三角エリア往復・ビーコン訓練など
参加者 : CL宮田 SL浅見&木下 川辺、大嶋、石川、南雲、豊島、須藤裕、駒崎、木村、栗原昌、井上
- 4 日だまりハイク・八溝山** [計画者:軽石]
日 程 : 2/11(水) 詳細は例会でお知らせします
参加者 : CL軽石 高野、八木、藤井、堀、並木、栗原、新井、高橋、逸見、渡辺、駒崎
- 5 山スキー・パウダーを滑る(山域未定)〈上級〉** [計画者:宮田]
日 程 : 2/11(水)～12(木) 詳細は例会でお知らせします
参加者 : 宮田、木下
- 6 山スキー・宮城蔵王のパウダーを滑る〈初級〉** [計画者:大嶋]
日 程 : 2/14(土)～15(日) 詳細は例会でお知らせします
- 7 日だまりハイク・鎌倉天園ハイク** [計画者:高橋]
日 程 : 2/14(土) 詳細は例会でお知らせします
- 8 初級冬山・黒斑山** [計画者:大嶋]
日 程 : 2/28(土)～3/1(日) 車坂峠～黒斑山往復(高峰温泉泊<予定>)
参加者 : CL大嶋 高野、山崎、八木、並木、白根、栗原、新井、逸見、軽石、豊島、木村
- 9 県連山スキーネット・山域未定〈初級〉** [計画者:県連山スキーネット事務局・須藤裕、宮田]
日 程 : 3/14(土) 詳細は例会でお知らせします
- 10 かたくり探勝ハイク・越後角田山** [計画者:藤井]
日 程 : 4/2(木)～3(金) 詳細は例会でお知らせします

新年例会のお知らせ

2009年1月17日(土) 午後3時30分～ 市民ホール
学習 : 「ビーコン講習」 <講師 : 木下>
※学習は定刻に開始します。時間厳守でお願いします。

当面の日程等

2月例会 2/7(土) 15:30～ 市民ホール 学習 : 未定
県連評議会 1/25(日) 13:00～ ふれあいプラザいわつき 滝沢

お知らせ

退会者 :
住所変更 : 須藤
 風間

『熊谷トレッキング同人第13回定期総会・発言要旨』

[書記：栗原昌]

＝発言があった議案＝

1-3 2008年の経過と総括(Ⅲ) …各委員会、技委総括…より

Ⅱ 学習委員会(2009年活動方針より)

＜学習の問題点について＞

～雪山、登攀学習～

(木下) 現状のバリエーションに特化した学習について、意見を聞かせて下さい。

(山崎) 机上学習だけでは駄目、実地訓練も必要。

(浅見) 机上学習も必要なのでは？

(豊嶋) 現在のところ一応、机上→学習の流れになっている。

(滝沢) 決まりなので毎回補助ロープを持っているが、実際使う場面を想像すると不安。全員が訓練すべき。

～学習のマンネリ化～

(木下) 定番化しているもの以外は現状無理にテーマを探している状態。

適当なテーマがなければ無理に行わず、別のことをやってもいいのでは。

(大嶋) 今までになかったテーマを取り入れたら良い。(山の歴史、キノコの種類など)

(軽石) 学習テーマを一人一企画で募ってはどうか。

(南雲) 登山検定(秩父山岳協会や山と溪谷で問題あり)を活用してはどうか。

～学習の新しいスタイル～

(木下) 今までの講師→生徒の一方通行型の学習だけではなく、全員参加型の学習もあっていいのでは。

(山崎) ディスカッション形式で登山に関する事(ウェア、山の食糧、ザックなど)の各自のノウハウを出し合ってそれを皆で共有できるようにすればいいのでは。

Ⅲ 海外登山委員会(2009年活動方針より)

＜村越基金の創設について＞

(宮田) 金子より昨年10周年記念誌に投稿された村越基金の提案をします。意見を聞かせて下さい。

(山崎) 長続きしない。主旨がよくわからない。目的に沿った金額を集めるのに一体どれくらいの寄付が必要なのか？現実的ではないと思う。

(大嶋) 使途②は意味が分からない。現地スタッフとは一体誰のことなのか？

(滝沢) お金の使い道の具体的な目標(石碑の復刻など)があった方がいいのでは。そして個々に有志でカンパしあうのならどうか。

(宮田) 村越さんにゆかりのない人もどんどん入会している。おそらく半分以上は直接は知らない。よって、会の組織として、会予算を支出する基金は想定していない。個人的には、海外委員会のなかに、有志の集まりで組織し、規定なりを定めた上で、会に報告するような感じでよいのではないか。

(大嶋) 総会で結論を出すべき議案ではないと思う。

※基金については、総会議案ではなく、海外委員会内の有志で検討して規定を定め、呼びかけや支出する際に会員に報告するということでした承。

IV 山旅編集委員会(2009年活動方針より)

＜山旅の改善について＞

(浅古) これからの山旅編集案①～③を考えてみましたが意見を聞かせて下さい。

(山崎) ②の他会との交流について、現在冊子の交流はあるのか？

(宮田) あまりない。北部ブロックはうち以外冊子自体を作っていないのではないか

(木下) 山域ごとのインデックスを作ってもらいたいとありがたいがどうか。

(宮田) 石川さんの負担がまた増えてしまう(笑)。

(石川) 文章を減らして、その分写真を増やしてはどうか。写真データをどんどん送ってほしい。

V 写真展開催委員会(2009年活動方針より)

＜次回写真展について＞

(豊島) アンケートにもあったとおり、写真展は隔年開催としたい(次は2010年)。

(藤井) 我々は写真倶楽部の人達と違って、山登りをしながら写真をとっている。一般の人では決してとれない山屋ならではの写真が撮れる。高峰から見下ろしたり、光線を狙って、そういう写真を展覧会に出してほしい。

VII 新入会員担当

＜新入会員対策について＞

(木下) 現状、毎年1～2人の割合で熊トレに入会している状況だが、会員の構成(男女、年齢層)や新入会員の募集形態から入会後のフォローアップをどうすべきか意見を聞かせてください。

(山崎) 5年10年先は、今の年配組で山に行ける者はほとんど残っていないのでは。

(浅見) これからの会のことを考えると新入会員の存在は大事。雑誌の掲載等も考えてよいのでは。

(山崎) 地域毎に発行しているタウン誌は意外にみんなよく見ている。活用してはどうか。

VIII 装備担当

＜会装備について＞

(大嶋) 5, 6人用のテントを更新する必要がある。メーカーはどこが良いか

(南雲) 使い勝手や非常時のことを考えると、サイズによらずメーカーは統一した方がいいのでは？

(宮田) 理想は夏なら何でもよいが、ビバーク時にはメンバー全員が設営方法を知らなくてはならない。予算面から、更新するテントはアライで考えている。

3 安全登山についての約束事より

(1) 登山計画書の提出先の訂正

○ 浅古

【2009年役員選出より】

県評議委員…滝沢